

[28-3]

『タイ村落宗教の担い手と信奉者の社会的関係：東北タイ・モータムを中心に』
一試論として

林 行夫

目的：一農村仏教の担い手の社会的展開の実態を明かにする。
モータム－信奉者（世帯主の妻を主とする）の関係

はじめに

1. 東北タイ農村〔ドンデーン村〕の宗教的世界

- * 上座部仏教：寺院、僧侶に象徴される制度宗教＝国教
- * 民間信仰：村祠、クンプラタム信仰の背後にある精霊（悪霊）の観念、
除祓儀礼を行なう複数の俗人（長老）の存在
↓
＝日常生活の安穩に寄与する守護力のカテゴリー

水野調査時（1964-66）、傑出したモータムの存在。宗教的リーダー。

2. 東北タイ農村における「守護力」(khong haksa) としてのモータム

- a：俗人として仏法を説き、主に除祓・招福儀礼を執り行なう宗教的スペシャリスト（通常、出家経験者）
- b：禁欲・持戒の生活態度＝人格化、靈力化される「法」(phratham)
- c：モータム相互の師弟関係と地理的範囲（僧侶→仏法を実践する俗人）
師匠の相違＝「教説」の相違（共通点）→村境を超えて拡大
- f：東北タイ地方に顕著な「高德者」(phu mi bun)、「靈能者」(phu witset) の伝統およびその背景となる「弥勒信仰」(Phra Sian) との関わり

本論

1. ドンデーン村におけるモータム：「守護力」の布置（表1－）

- a : モータム各派の伝播・定着と共存→村の伝統的守護霊信仰の「改革」
- b : 信奉者 (luk phung luk thien) = 女性世帯主と未婚の子供が主
- c : モータムのタイプ (「家族」中心型 / 信奉者中心型)
 - 【問題点】 タテ関係の優先
 - 娘婿としての夫と妻の関係
 - 職業としてのモータム (師匠との報酬分配)
- d : モータムのグループ別にみた信奉者の内訳
- e : 信奉者の構成の型 (親族別 / 世代別)
- f : 親族と主流派モータムの関係

3. モータムと信奉者の儀礼結合

- a : 通過儀礼と除祓儀礼 (悪霊の排除→日常性の創出・回復・維持)
- b : 仏齋日、主要な年中仏教儀礼時に献花 (pai busa)
- c : 篤信家 (村内の在俗信徒の指導的助言者) < 聖 > 世界と < 俗 > 世界の
仲介者 ; 農村仏教の知識の把持→移住、開拓定着する男性の威信 (?)

4. モータムと信奉者の社会関係の意味

- a : 師匠 (僧侶) - モータム - 信奉者 : タテの互酬性 (保護 = 帰依)
- b : < 聖 > 仏陀 : 僧侶 = モータム : 信奉者 (女性) < 俗 >
- c : 母から娘→特定化されるパトロン-クライアント関係 (母系の祖霊信仰と禁欲的祭司・保護者としてのモータム)
- d : 女性と男性 / 日常生活と仏教における立場の差異
- e : 開拓村、「良田を求めて」(ha na di)の移動する生活世界との関わり

むすびにかえて : 宗教的守護力の必要とその担い手 - 信奉者の宗教的・社会的
関係が意味するもの

表：1 ドンデーン村の「宗教的守護力」(khong raksa) の分布

1	世帯数(1984-85)	183	* 夫婦世帯	146
			寡婦世帯	28
			男やもめ世帯	9**
2	調査対象	174		
	A	モータム(KT)に頼る	155	
	A-1	(DD村内のKT)	131	
	A-2	(NK村住=元DD村住のKT)	19	
	A-3	(DD村外のKT)	5	
	B	世帯主に頼る	5	
	C	守護霊(phi)に頼る	4	
	D	父親に頼る	3	
	E	僧侶(DD村の寺)に頼る	3	
	F	地母神(Khae Thorani)に頼る	1	
	G	出身村(DD村外)の村人に頼る	1	
	H	自分のブラタムに頼る	1	
	I	母親に頼る	1	

* : 1983-84 の世帯総数のうち、4 戸が空き家であった。

** : 不明 3。調査当時僧侶 2 のほか、自己自身を頼る 2、モータムに頼る 2 がその内訳である。

表 2 : ドンデーン村在住のモータム各人のデータ (1982-1984)

Handwritten notes in Thai script at the top of the page, including the name 'Tham Luongpho' and other illegible characters.

*	a	b	c	d	e	f	g	h
	97	[Bar]	77	43.25	2Y8H	L	25	
	67	[Bar]	57	35.62	3H	L	35	
	131	[Bar]	59	22.20	2Y	(5Y)	L 7	
	25	[Bar]	63	14.25	-	(2Y)	- 7	
A	148	[Bar]	74	3.50	1Y	L	3	
	15	[Bar]	60	18.00	1D	-	0	
	[132:	[Bar]	82	59.50	-	(?)	-	
	[122:	[Bar]	78	21.00	10H	(5Y)	-	
	[142:	[Bar]	79	32.75	4Y	(4Y)	-	
	134	[Bar]	66	20.75	3Y	(5Y)	L 32	
B	75	[Bar]	74	33.00	8Y	(4Y)	L 11	
	1	[Bar]	77	17.00	-	(4Y)	L 3	
C	43	[Bar]	68	38.00	1Y4H	(1Y)	L 8	

* A : Tham Orahan B : Tham Luongpho C : Tham 'Noi'

a : serial no. b : name of Mo Tham c : years of age d : farm land owned

e : period of monkhood f : (period of novicehood)

g : recognize himself as a leader of his kingroup

h : no. of 'Luk Phung Luk Thien'

表 3 : ドンデーン村のモータムと信者の内訳 (1984)

* a	b	c	d	e
97	[redacted]	25 (8)		
67	[redacted]	35 (5)		
131	[redacted]	7 (0)		Tham Orahan 96 <62%>
25	[redacted]	7 (0)		
148	[redacted]	3 (0)		
(Hong Khoi村)	[redacted]	19 (4)		
134	[redacted]	32 (5)		
75	[redacted]	11 (2)		Tham Luongpho 47<30.3%>
1	[redacted]	3		
(Don Han村)	[redacted]	1		
43	[redacted]	8 (1)		Tham 'Hoi' 12 <7.7%>
# (出身村: 他県のモータム)				4
total:				155 (25) 155 <100%>

* a: serial no. b: name of Mo Tham c: no. of 'Luk Phung Luk Thien'
d: no. of widow's HH. e: group of Mo Tham

表 4 : モータムの信者の内訳 (1984: 親族関係の有無からみた分類)

* #	age	@	total	R	WR	SS	CL	
97	[redacted]	77	49	25(8):	2	2	1	20
67	[redacted]	57	48	35(5):	0	0	0	35
131	[redacted]	59	46	7(0):	3	2	0	2
25	[redacted]	63	49	7(0):	4	1	0	2
148	[redacted]	74	36	3(0):	2	1	0	0
(HK村)	[redacted]	77	45	19(4):	12	0	5	2
134	[redacted]	66	45	32(5):	1	3	1	28
75	[redacted]	74	43	11(2):	4	2	0	5
1	[redacted]	77	49	3:	2	1	0	0
(DH村)	[redacted]	84	26	1:	7	7	7	(717)
43	[redacted]	68	43	8(1):	0	4	0	4
# (出身村: 他県)				39	4	7	7	(747)

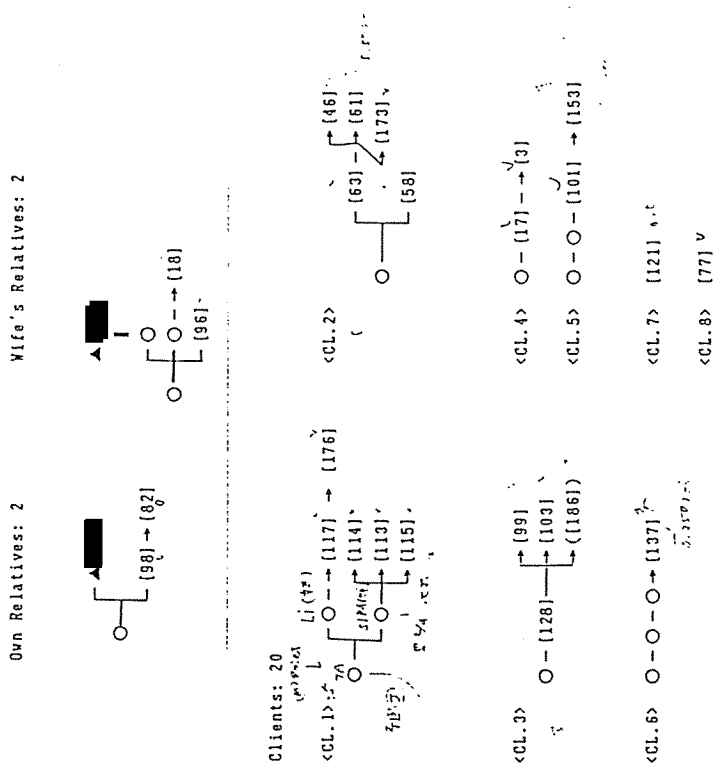
* @: 信者の平均年齢

R: モータム自身の親族メンバー WR: モータムの妻の親族メンバー

SS: 同じモータムのグループの親族 CL: 血縁のないクワイアント

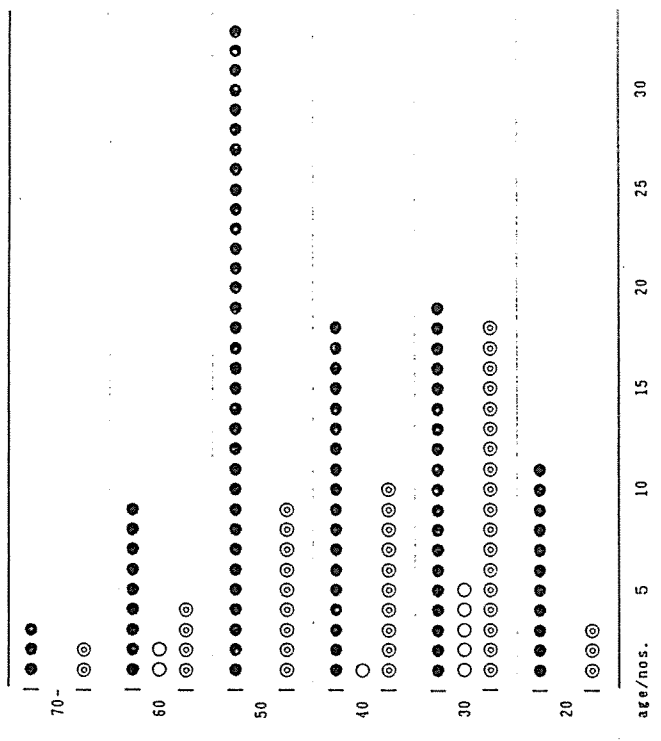
注: R.には実子も含む。WR. は妻自身も含む。CL. には母一娘の系譜をとらずに息子をたどる者が含まれる。

表 5 Sang Khongsima の信春者 (26 cases) の親族別構成



Same School: 1 (67= Sin Donbanthao's Wife)

表 6 モータームのグループと信春者の年齢分布*



● = 年譜不詳 4 ケースを除く
◎ = [redacted]
○ = [redacted]

図 1

の住居者

MAP OF EDI DADA COMMUNITY



77(65)

図 2

の住居者

MAP OF EDI DADA COMMUNITY



47(35)

図 3

のモ-タム

MAP OF EDI DADA COMMUNITY

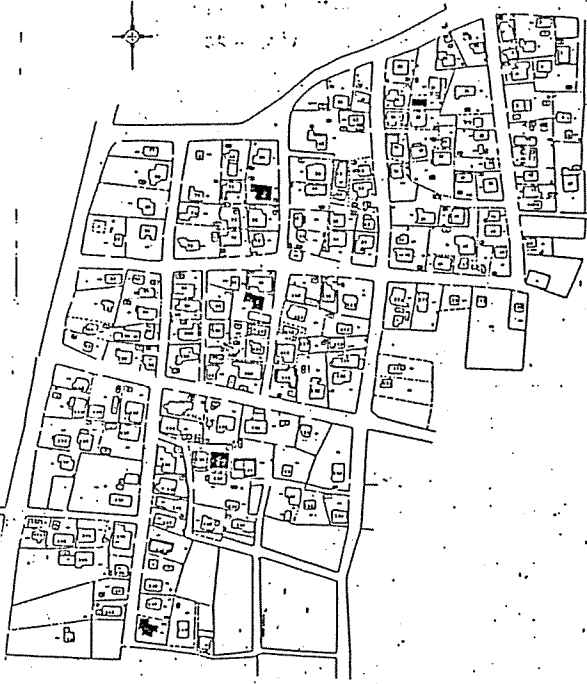
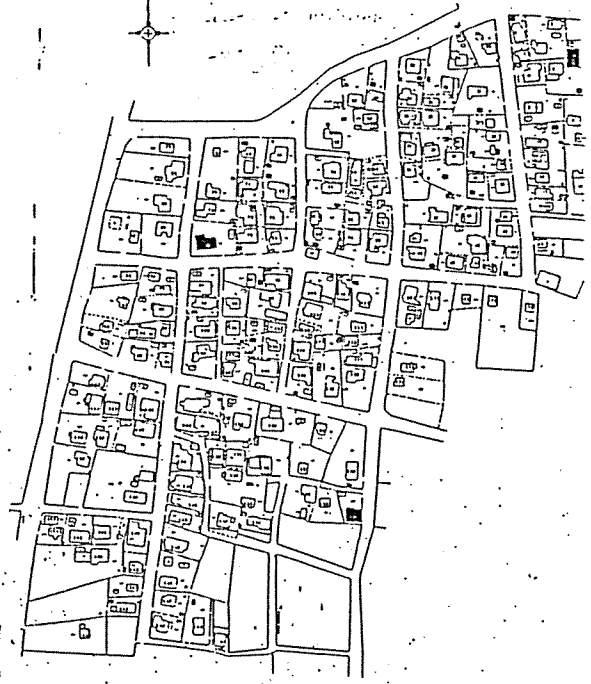


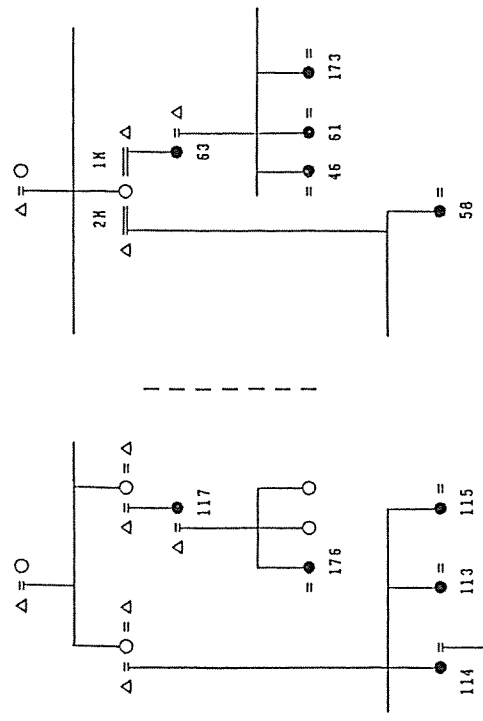
図 4

のモ-タム

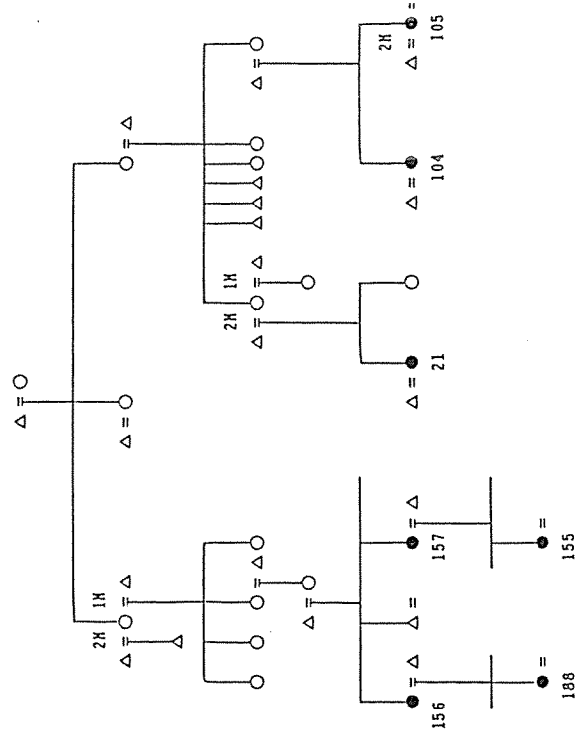
MAP OF EDI DADA COMMUNITY



近視者にモーターをもたない親族の信務者の分布例<1>
 CL/ [OR:S

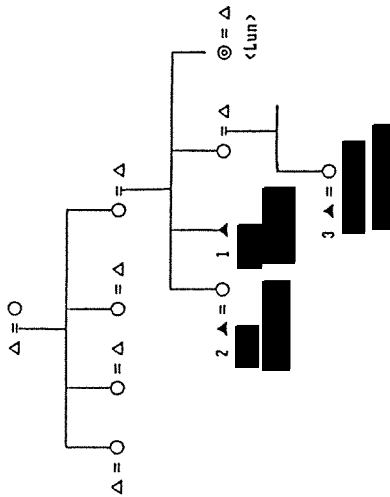


近視者にモーターをもたない親族の信務者の分布例<2>
 CL/ [



ひとりの女性が生涯預ったモータムの変遷
 < 1 > [69 歳]

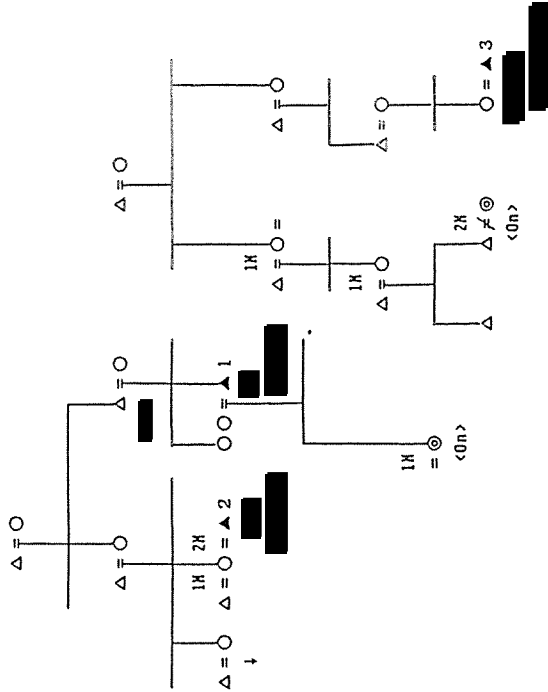
(00 村古座の親族メンバー；近親にモータムが多い例)



- (1) 最初に信葬者として預ったのは長兄の [] である。
- (2) [] の死後、長姉の夫 [] の信葬者となる。
- (3) [] の死後、次姉の娘の夫にあたる [] 信葬者として今日に至っている。

[注]： [] の夫はモータムである [] だが、彼の信葬者ではないという。夫はモータムとして立派ではあるが、本来、 [] (娘婿) である人物に信葬者として預るべきではないという。

ひとりの女性が生涯預ったモータムの変遷
 < 2 > [71 歳]；寡婦

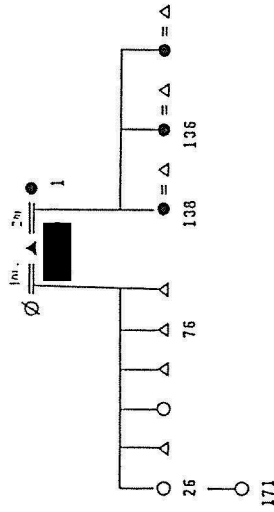


- (1) 最初に信葬者として預ったのは実父の [] である。
- (2) [] の死後、祖父 Pha の姉の娘婿 [] の信葬者となる。
- (3) [] の死後、祖婚した夫の親族のメンバーにあたる [] の婿 [] 信葬者として今日に至っている。

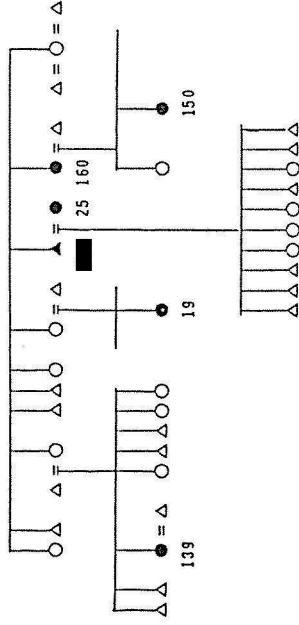
[注]： [] の前夫はモータムである [] だが、過去も現在も彼の信葬者ではない。理由は、 [] の場合と同様である。

モータムと親族：系図図一覽／近親

< 1 > ■■■■■ 1 妻子のみが信託者 (CL95)

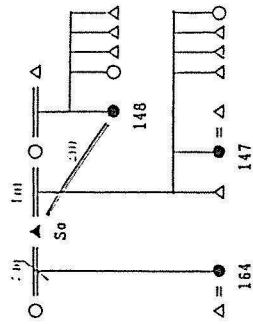


< 3 > ■■■■■ 2 自己开口の信託者 (才俊) (才俊) (才俊)

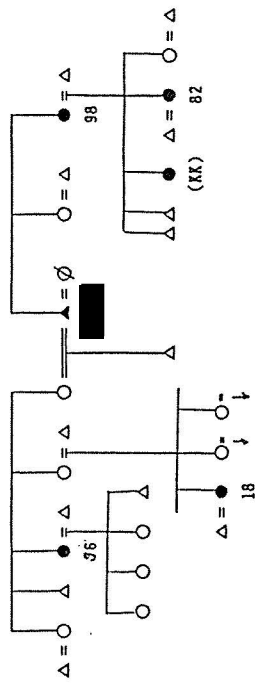


< 4 > ■■■■■ 3 近親内に拡大する信託者

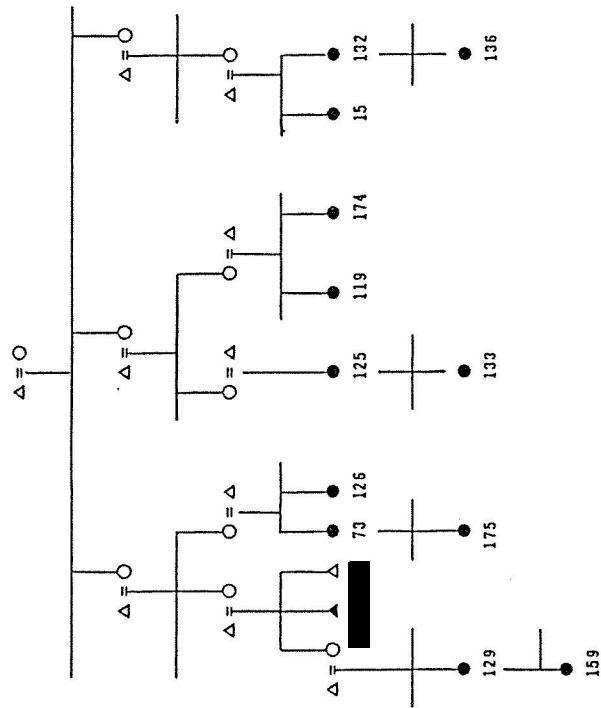
< 2 > ■■■■■ 1 妻子のみが信託者 (CL95)



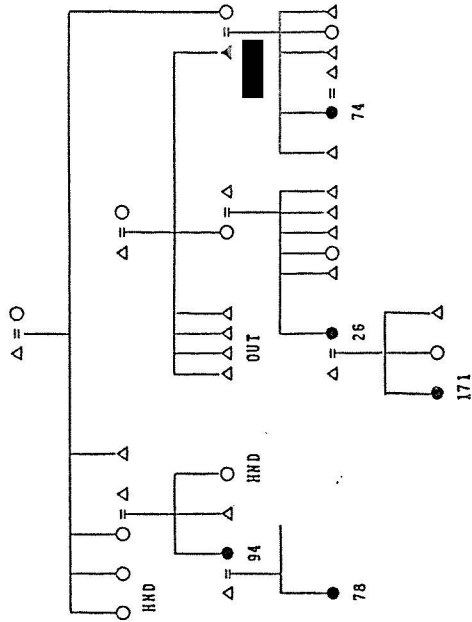
< 5 > ■■■■■/4 英方、自己方の双方に呂春者



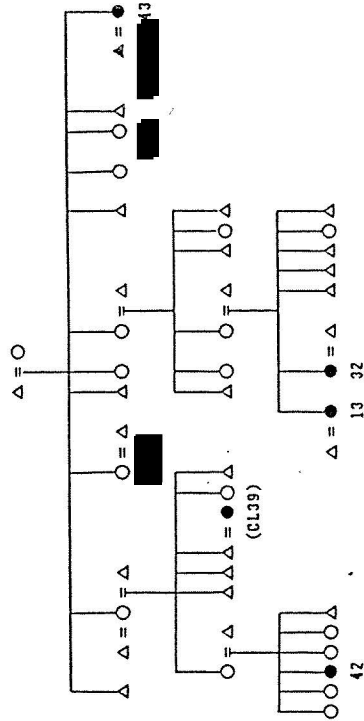
< 6 > ■■■■■/5 頭著な母系傾斜



< 7 > ■■■■■/2 英方、自己方の双方に呂春者

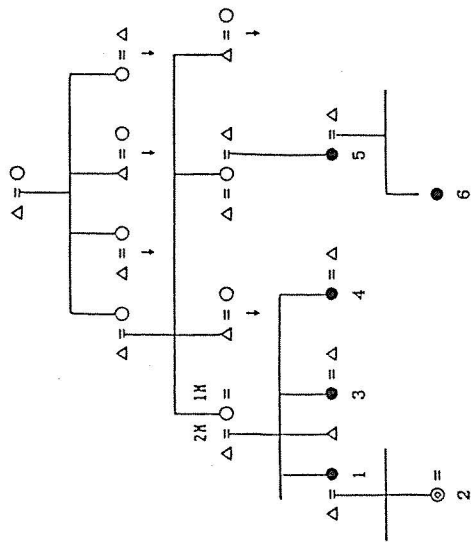


< 8 > ■■■■■/英方傾斜



同一親族内で信奉するモナム[ik]が異なる三存]

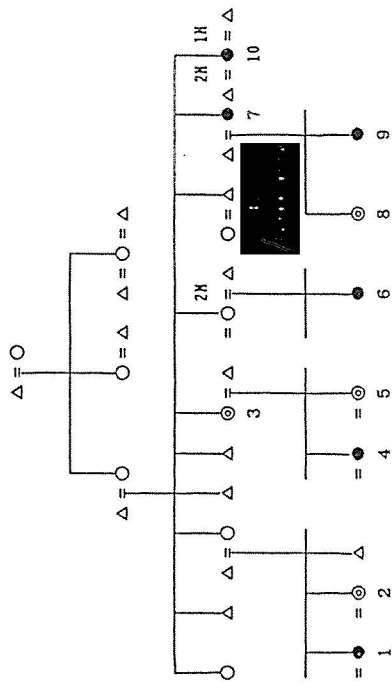
</>系図J



- 1 : [114] ●
- 2 : [81] ◎
- 3 : [113] ●
- 4 : [115] ●
- 5 : [117] ●
- 6 : [176] ●



<Z>系図14/1



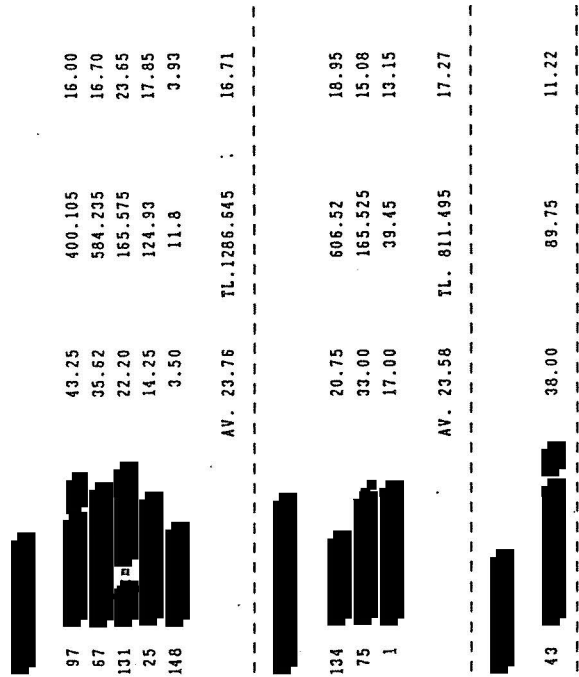
- 1 : [139] ●
- 2 : [145] ◎
- 3 : [7] ◎
- 4 : [6] ●
- 5 : [7] ◎
- 6 : [19] ●
- 7 : [160] ●
- 8 : [156] ◎
- 9 : [150] ◎
- 10 : [5] ●



参考資料：B

モータム各米別農地所有面積の比較

：ドンデーン村在住のモータムの信者の内訳（198：農地所有面積）



<3>系図D

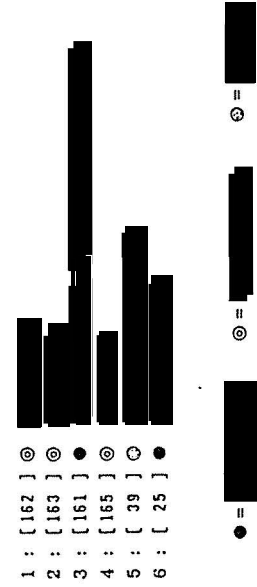
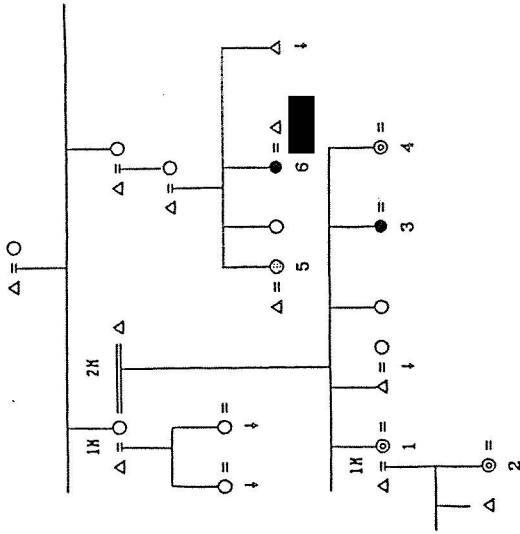
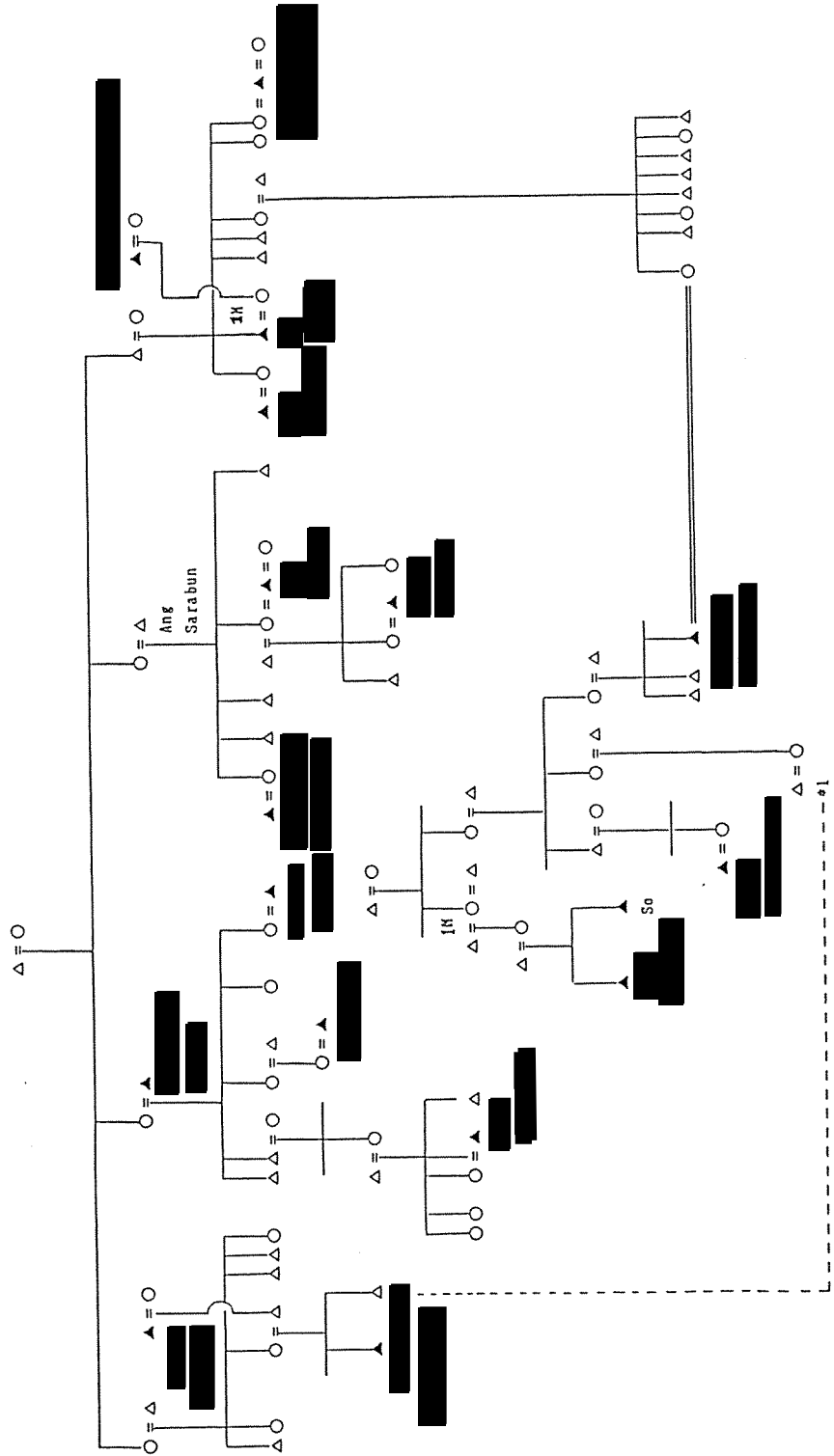


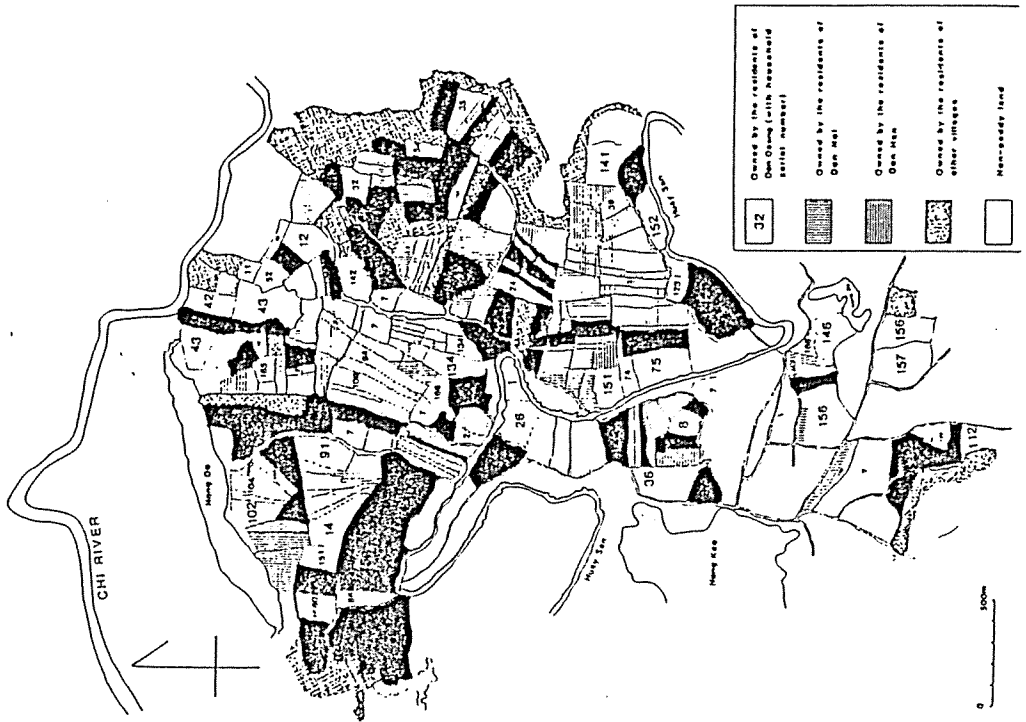
CHART B /

宗教的リーダーと<ハムケイ>のメンバーと親族の系図



参考資料：A

① [redacted] の信奉者の所有水田分布



② [redacted] の信奉者の所有水田分布

